



※卒業式 校長式辞より「はなむけの言葉」

幸せの形

この1年間、最上級生として学校を牽引してくれた皆さんと、校長として共に過ごした日々は、私にとって思い出深い素晴らしいものでした。そんな大切な皆さんには、これからの長い人生の中で、是非、幸せになってほしい。強く、そう思っています。

では、「幸せ」とは何でしょうか？今日は、皆さんへのはなむけの言葉として、私が考える「幸せ」についてお話します。

皆さんは、将来に向かって、様々な夢を抱き、これから、その夢の実現に向けて、多くの努力を積み重ねていくことでしょうか。そんな中で、その都度、自分自身が思い描いた夢や理想を達成できたか、或いは、どれだけ近づいたか、そのことを尺度として自分自身を評価し、さらに周囲からの社会的な評価も、目に見える「成功」や「成果」によって行われていくでしょう。試験や競技会、順位や序列などと折に触れて向き合いながら、そのたびに勉強や練習など、努力を重ねていくこととなります。競争の中で成功を目指して努力することは、自分を鍛え、自分の力を伸ばし、社会の中での役割を果たすために必要なことです。

もちろん、皆さんには、夢に向かって日々努力を重ね、様々な分野で成功してほしいと思っておりますが、もしも、他人との比較や競争によって、その勝者にのみ幸せが訪れるのであれば、幸せになれるのはごく一部だけということになり、ここにいる大切な皆さん全員に幸せになってほしいという私の願いは、虚しいものになってしまいます。

私は、社会的な「成功」と個人の「幸せ」とは、別のものだと感じています。

幸せとは、他人と比較した優越感や、競争によって勝ち取るものではありません。自分自身で感じるものです。

幸せを感じるためにも努力は必要ですが、それは、競争の中で頂点を目指すためではなく、自分自身をより高めるための努力です。正しいこと、美しいこと、優しいことなど、自分自身に恥ずかしくないことを、胸を張って続けましょう。誰かに勝つためではなく、自分の力を少しでも伸ばすために学び、鍛えましょう。その結果が競争における成果として現れることもあるでしょうし、優越感や勝利によって感じる幸せがあることも否定はしませんが、幸せの形は、一つではありません。日々の努力によって自分を好きになることができれば、他人と比較することなく、自分だけの掛け替えのないものに気付き、人によって、その時々、様々な形で幸せを感じることができると思います。

皆さんがこれから歩いていく人生は、平坦な道のりばかりではありません。どんなに努力しても、自分が思い描いた夢が叶うとは限りません。つらいときもあるでしょう。しかし、立ち止まることがあっても、遠回りしても、失敗して何度やり直しても、そこに、自分を大切にできる自分がいればいいのです。どんなことがあっても、自分の人生は自分のためものです。

あなたの人生は、あなたのためのものです。

大切な皆さんの幸せを、心から願っています。

※裏面に、来年度の「郡山小学校教育活動方針」についてのお知らせがあります。

郡山小学校 令和4年度の教育活動方針等について

今年度の反省を踏まえ、来年度の教育活動の方針等についてお知らせいたします。

1 学校教育目標・スローガンについて

本校の学校教育目標は「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる児童の育成」です。その具現化のため、「明るいあいさつ・笑顔いっぱい・夢いっぱい 郡山小」というスローガンを掲げて取り組んで参りました。学校教育目標、スローガン、及び以下の重点目標の三本柱は、来年度も継続いたします。

2 重点目標について

「仲間づくり（徳）」「未来づくり（知）」「体づくり（体）」という三本柱に継続して取り組んで参ります。「仲間づくり」では、上記スローガンの「明るいあいさつ」「笑顔いっぱい」について協働型学校評価の重点目標とも関連付けながら指導に力をい入れ、思いやりと礼儀ある人間関係構築を目指します。「未来づくり」では、スローガンの「夢いっぱい」について特に強調し、「自分づくり教育」とも関連付け、将来の自分の姿を描きながら学習に取り組ませることで、学習意欲の向上を目指します。

「体づくり」では、来年度は特に「食育」に更に力を入れて参ります。今年度の学教評価アンケートにおいて、保護者・児童共に、「好き嫌いなくバランスよく食べる」という項目の評価が低かったことや、毎日の給食での残食を目の当たりにする中で、学校での指導や働きかけを工夫し、家庭とも連携することで、子供たちの食への関心をさらに高めることが必要だと考えました。スローガンの「笑顔いっぱい」とも関連付けながら、子供たちには、自分の成長のために、また、いただいている命や作ってくださる方々に感謝しながら、食べることの意義や食文化について理解し、望ましい食習慣を身に付けてほしいと願っています。無理に食べさせるような指導は決していたしません。まずは給食時間の指導を工夫しながら、残食を少しでも減らせるように取り組みます。

3 協働型学校評価の重点目標について

郡山小学校では、教育目標具現化のための重点目標の一つである「仲間づくり（他者と協働し、共に生きようとする児童）」の中で「相手に伝わる挨拶をしよう」を到達目標に設定し、「自分から・誰にでも・気持ちよく挨拶をする」ことを重点目標として取り組んでおります。昨年末のアンケート調査結果も踏まえ、来年度は、学校だけでなく、地域や家庭でも進んで挨拶ができる児童を目指し、それに絞った項目をアンケートに加え、その割合を、80パーセント以上にすることを目標として、三者が一丸となった取組を続けて参りたいと思います。校内での挨拶についての働きかけを継続しながら、さらに、家庭を含め、子供たちが地域の一員であるという自覚を高めていけるよう働きかけを行い、家庭や地域での挨拶の活性化を目指して参ります。

以下の点については、来年度、変更、改善していきたいと考えています。

1 4月の授業参観を土曜日に実施

土曜日の参観を1回設定します。【4月23日（土）】（PTA総会は紙面にて行います。）

2 運動会

児童種目を中心とした運動発表会として実施します。体振との共催は未定です。

5月21日（土）の午前中に実施し、昼食は挟みません。

3 「学習発表会」を平日開催とし、全学年「音楽発表会」として実施

普段の音楽の授業における学習成果の発表の機会とします。学習指導要領に沿った内容を基本として、10月25日（火）の実施を予定しています。

4 毎日の時程の変更

清掃の時間を5分短縮します。子供たちの清掃への取組態度がよく、協力して効率的に清掃を行っており、5分短縮しても十分だと考えました。（6校時終了が15：20になります。）

今年度、保護者や地域の皆様から郡山小学校に賜りましたご理解、ご支援、ご協力に、深く感謝申し上げます。令和4年度も、「大切な子供たちのために」職員一丸となって努力して参ります。